

(様式)

令和7年度 高校生防災アクション報告書		学校名	大垣北高等学校		
<b>1・目標</b> 災害に関する正しい知識や行動力を身につけ、防災や減災に対する意識を高め、「自分の命を自分で守る」ために必要な資質や能力、及び社会の一員として地域に貢献しようとする意欲を育てる。					
<b>2・異なる危険を想定した年間3回以上の命を守る訓練</b> ※行が不足する場合は追加をすること。					
回	年月日	想定する危険	実施内容	参加人数	
1	計画	令和7年4月8日	不審人物侵入	学年別講義形式	生徒・職員1023名
	実施	令和7年4月8日	不審人物侵入	学年別講義形式	生徒・職員1015名
2	計画	令和7年4月16日	地震	シェイクアウト訓練とワークシート	生徒・職員1023名
	実施	令和7年4月16日	地震	シェイクアウト訓練とワークシート	生徒・職員1011名
3	計画	令和7年6月10日	火災	全校一斉による避難行動の実施	生徒・職員1023名
	実施	令和7年6月10日	火災	全校一斉避難行動の実施と消火器使用方法の解説(雨天; 体育館避難)	生徒・職員1014名
<b>3・防災に関する主な取組の計画</b> ※防災教育に関する講話・授業・行事等の実施月と内容について簡潔に記入してください。					
(1) 総合的な探究の時間(2年生); 地域防災をテーマに探究活動を実施し、成果発表をおこなう。 (2) 家庭基礎(1年生); ホームプロジェクトとして自然災害や防災について取り組み、調査や体験の発表会を実施 (3) 地震発生から避難までの行動チェック(全学年); 学校独自のワークシートをシェイクアウト訓練後に実施 (4) 減災力テスト(全学年); 保健委員会が主催し年2回実施(6月、12月)、6月の結果を考察し文化祭で企画報告 (5) 防災士による講話; 総合的な探究の時間(2年生)で実施					
<b>4・防災に関する主な取組の報告</b> ※誰が、誰と、何をしたかを具体的に記入してください。					
(1) 総合的な探究の時間発表会は3月実施 (5) 防災士による講話は未実施 (2) 家庭基礎(1年生) ホームプロジェクト ・「自分や家族を守る準備をするため」「将来、地域や社会に貢献できる力を身に着けるため」を目的とし『我が家の防災、減災プロジェクト』に取り組んだ生徒の発表があった。家族にアンケートを取り、家族と共に、避難経路の確認、非常用バッグの点検、家具の固定を実施。災害伝言ダイヤルの使い方を学び、連絡手段を確認。家族で根尾谷断層観察館を見学した。それらの実践の様子や気づきをまとめ、第46回全国高校生ホームプロジェクトコンクールに応募し、佳作を受賞した。 (3) 地震発生から避難までの行動チェック(全学年) ・大阪市作成の「地震発生から避難までの行動チェック表」を参考に、学校独自のチェック表を作成し、シェイクアウト訓練の後、各HRで実施した。各自自宅に持ち帰り、取り組みにつなげるよう指導した。 (4) 減災力テストをもとにした生徒保健委員会による文化祭での発表 ・減災力テストの20の質問に対し、2年生の保健委員を中心に一人1問、『 <u>私たち北高生ができること</u> 』という視点で具体的に意識するよう意識して提案を行った。 ・地震、水害、土砂災害などに対し、近隣の自治体からハザードマップを取り寄せて展示し、自分たちの身近で発生した過去の災害を紹介しながら、身近な場所で発生した場合を具体的に想定した提案や、災害時に役立つライフハックなどを提案した。本巣市ホープ防災リーダーズの活動を参考に、女性への配慮を提案した。 ・大垣市危機管理課より、段ボールベッド・避難所の間仕切り(ひなんルーム)・テント付きトイレ・能登半島支援活動のパネル・大垣防災(自治体の災害広報冊子)パネル・車載用非常道具を借用し展示した。 ・段ボールベッドの設置体験、ポンチョ作り体験の実施をした。					
連携した組織など	<input type="checkbox"/> PTA <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 大学・専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 市役所・町村役場 <input checked="" type="checkbox"/> 消防署 <input type="checkbox"/> 病院等医療機関 <input type="checkbox"/> 警察署 <input type="checkbox"/> 気象台・気象庁 <input type="checkbox"/> 防災・減災センター <input type="checkbox"/> 防災士会 <input type="checkbox"/> 企業・NPO法人( ) <input type="checkbox"/> その他( )				
減災力テスト	回	平均点	実施学年	備考	
	1	58.4点	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生 <input checked="" type="checkbox"/> 2年生 <input checked="" type="checkbox"/> 3年生 <input type="checkbox"/> 4年生		
2	59.4点	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生 <input checked="" type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生 <input type="checkbox"/> 4年生			
成果と課題	【成果】減災力テストの平均点において、1年生では6月より12月の方が点数が低くなったが、2年生は56.7点から62.9点とかなり高くなった。文化祭の展示では2年生の保健委員を中心に取り組んでおり、仲間に積極的に来場を呼び掛けるなどし、波及効果があったと考える。保健委員は取り組みをきっかけに、祖父母に近所の高齢者について尋ねたり、「最近、家や外で、今地震が起きたらどのルートで逃げるかなどを考えるようになった」と話しており、以前より具体的に災害に向き合う姿勢が生まれた。 【課題】被災については正常化バイアスが働きやすく、知識と行動に乖離が起きる。自分たちのところで発災する前に、他地域の発災を参考に、都度、話題にし、行動に結びつけていく必要がある。				

※網掛けの項目については、報告の際に記入をしてください。計画書・報告書のページ数に制限は設けません。行が不足する場合は、適宜追加してください。図、写真の貼付や報告書に加えて資料等を添付していただいても構いません。その場合は個人情報・肖像権等に配慮願います。